

業績録

枚方公済病院薬剤科

2014～2025 年度

論文

- Sawada K, Inose R, Muraki Y. Modifying effect of hospital size on the impact of antimicrobial stewardship programs for methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* bloodstream infections: a nationwide claims database analysis. *J Pharm Health Care Sci.* 2026 Feb 26;12:39.
- 中谷丈之, 沢田佳祐, 西山晃, 河野修治: Cefmetazole の使用量と大腸菌・肺炎桿菌の感受性についての経年比較, *日本化学療法学会雑誌*, **73(4)**, 333-339, (2025).
- Sawada K, Kono S, Inose R, Muraki Y. Qualitative Changes in Clinical Records After Implementation of Pharmacist-Led Antimicrobial Stewardship Program: A Text Mining Analysis. *J Pharm Health Care Sci.* 2025 Apr 23;11(1):34.
- Sawada K, Muraki Y, Inose R, Kono S, Tanaka M, Ueba T, Kawakami E. Home visit survey on outpatient antibiotic use: Assessing leftover medications and factors influencing appropriate use by community Pharmacists. *J Infect Chemother.* 2025 Mar;31(3):102623.
- Sawada K, Kato T, Kono S, Kaneko H, Nakano H, Inada S, Isogawa T, Shimizu T, Takahashi N, Takano H, Chiba H, Sugimoto M, Inose R, Muraki Y, Araoka H. Correlation between carbapenem susceptibility in *Pseudomonas aeruginosa* and modified antibiotic heterogeneity index: a multicenter observational study using a surveillance platform. *Antimicrob Steward Healthc Epidemiol.* 2025 Jan 27;5(1):e21.
- 沢田佳祐: 抗菌薬適正使用支援チーム(AST)における多職種連携のあり方, *共済医報*, **73(2)**, 144-150 (2024).
- 出口桃子, 沢田佳祐, 中谷丈之, 山本貴士, 竹山治, 河野修治: 心房細動由来の上腸管膜動脈塞栓症により短腸症候群となった患者に対してダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩を導入した1症例, *日本病院薬剤師会雑誌*, **59(12)**, 1361-1365 (2023).
- Sawada K, Inose R, Goto R, Nakatani T, Kono S, Muraki Y, Effectiveness of Noncertified Pharmacist-Led Antimicrobial Stewardship Programs in a Medium-Sized Hospital Without an Infectious Disease Specialist: A Retrospective Pre-Post Study. *Open Forum Infect Dis.* 2023 Mar 4;10(3)
- 沢田佳祐, 中谷丈之, 上山孝太, 矢田真理, 福田康二, 加藤星河, 藪 圭介, 河野修治: SARS-CoV-2 ワクチン接種後の副反応発現率とIgG抗体価解析, *日本化学療法学会雑誌*, **70(1)**, 73-79 (2022).
- 河野修治, 竹川菜美子, 堀田千里, 東儀明恵, 権藤直人, 加藤星河, 橋詰 勉, 高山 明: 薬剤師によるCT画像を利用した介入によって血糖コントロールが改善した一症例, *くすりと糖尿病*, **5(2)**, 222-227 (2016).

学会発表等

【2025 年度】

- Hospital Size and Antimicrobial Stewardship Impact on Outcomes of Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* Bloodstream Infections: A Nationwide Claims Database Analysis 【International Session (Oral) Award Session】. The 35th Annual Meeting of the Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences, 2025. 11.
- 抗緑膿菌薬の選択圧指数と耐性率との関連 — 中小病院の薬剤師が主導する J-SIPHE を活用した多施設共同研究 —. 第 35 回日本医療薬学会年会（神戸）, 2025. 11.
- 臨床医の抗菌薬適正使用支援チームへの参画が抗菌薬の使用量と *P.aeruginosa* に対する薬剤感受性に及ぼす影響. 第 35 回日本医療薬学会年会（神戸）, 2025. 11.
- 前治療により好中球減少が遷延した低形成骨髄の MDS-MLD 急性白血病転化に対して維持量減量 VEN+AZA 療法が奏効した 1 例. 第 35 回日本医療薬学会総会（神戸）, 2025. 11.
- 急性骨髄性白血病に対するベネトクラクス減量症例の治療経過と副作用発現状況の報告. 第 74 回共済医学会（仙台）, 2025. 10.
- 中小病院の薬剤師による抗菌薬適正使用の推進：令和 6 年度診療報酬改定の戦略的活用. 第 40 回日本環境感染学会総会・学術集会（横浜）, 2025. 7.
- 当院における腸内細菌科細菌のセフメタゾール感受性の推移. 第 99 回日本感染症学会総会・第 73 回日本化学療法学会総会（横浜）, 2025. 5.

【2024 年度】

- 中小規模施設における薬剤師協働型 AS プログラムの構築. 第 3 回日本病院薬剤師会 令和 6 年度感染制御専門薬剤師講習会（WEB）, 2025. 2.
- 中小病院における AST の介入内容および病棟薬剤師との連携. 第 72 回日本化学療法学会西日本支部総会（神戸）, 2024. 11.
- 経皮的冠動脈インターベンション施行患者におけるアスピリン腸溶錠の粉碎投与による消化器症状の発症頻度の比較. 第 34 回日本医療薬学会年会（千葉）, 2024. 11.
- ニルマトレルビル/リトナビルの腎機能に応じた投与量調節の有無が副作用の発生率に及ぼす影響. 第 34 回日本医療薬学会年会（千葉）, 2024. 11.
- modified antibiotic heterogeneity index と緑膿菌のカルバペネム感受性率との相関：15 施設を対象とした多施設観察研究. 第 34 回日本医療薬学会年会（千葉）, 2024. 11.
- 当院におけるセフメタゾール注の使用動向と大腸菌・肺炎桿菌の感受性の推移. 第 71 回日本化学療法学会東日本支部総会（東京）, 2024. 10.
- 感染対策の病院 DX 「J-SIPHE」の活用事例. 第 73 回共済医学会（横浜）, 2024. 10.
- 睡眠薬導入時の効果に関するアンケート結果と眠り SCAN から検出されたデータの比較. 第 73 回共済医学会（横浜）, 2024. 10.
- 薬局薬剤師による AMR 対策への提言に向けた居宅訪問による抗菌薬適正使用の実態調査:令和 4 年度薬剤師職能振興研究(中間報告). 第 57 回日本薬剤師会学術大会（埼玉）, 2024. 9.
- 薬剤部や病棟のスタッフを巻き込んだ AST 薬剤師の取り組み. 第 39 回日本環境感染学会総会・学術集会（京都）, 2024. 7.

- ・ 感染症および心不全における薬物療法の変化と薬剤師の関わり. 第 44 回 ひらかたオンラインミニレクチャー (大阪), 2024. 7.
- ・ 中小病院の薬剤師から見た感染制御認定薬剤師取得の意義とメリット. 第 7 回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum (WEB), 2024. 7.
- ・ 9 年目薬剤師の考える医療薬学会の楽しみ方. 第 7 回日本医療薬学会 フレッシュヤーズ・カンファレンス (東京), 2024. 6.
- ・ 感染症専門医が不在の中規模病院における認定資格を持たない薬剤師主導による抗菌薬適正使用支援の評価. 第 72 回日本化学療法学会総会 (神戸), 2024. 6.
- ・ 歯科口腔外科手術関連クリニカルパス変更による術後抗菌薬の適正使用の推進とその効果. 第 72 回日本化学療法学会総会 (神戸), 2024. 6.

【2023 年度】

- ・ 白内障手術クリニカルパス変更が抗菌薬適正使用や術後眼内炎に及ぼす影響. 第 33 回日本医療薬学会年会 (仙台), 2023.11.
- ・ 心不全患者に対するサクビトリルバルサルタン導入時の用法用量に影響する因子の解析. 第 72 回共済医学会 (金沢), 2023.10.
- ・ 抗菌薬適正使用チーム(AST)における多職種連携のあり方. 第 72 回共済医学会 (金沢), 2023.10.
- ・ 感染症専門医不在施設の AST 活動. 第 38 回日本環境感染学会総会・学術集会 (横浜), 2023.7.
- ・ 機械学習を用いたバンコマイシン投与患者の死亡率に対する病棟薬剤師や抗菌薬適正使用支援チームの関与についての解析. 第 71 回日本化学療法学会学術集会 (横浜), 2023.4.

【2022 年度】

- ・ 手指消毒薬使用量が及ぼす多剤耐性菌発生率への影響. 第 70 回日本化学療法学会西日本支部総会 (長崎), 2022.11.
- ・ 新型コロナウイルスワクチン(BNT162b2)2 回接種後 8 カ月時点の IgG 抗体価減少に関する検討. 第 70 回日本化学療法学会西日本支部総会 (長崎), 2022.11.
- ・ がん化学療法による心機能障害予防のための新規プロトコールの導入. 第 71 回共済医学会 (大分), 2022.10.
- ・ 中規模病院における抗菌薬適正使用支援チームが患者アウトカムおよび医療費に与える影響. 第 71 回共済医学会 (大分), 2022.10.
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種後の抗体価解析. 第 71 回共済医学会 (大分), 2022.10.
- ・ ニルマトレルビル/リトナビル使用患者における禁忌薬該当症例の調査と対応策. 第 32 回日本医療薬学会年会 (群馬), 2022.9.
- ・ 感染症専門医がいない病院における AST 活動. 日本化学療法学会第 2 回 AST 講習会 (Web), 2022.9.
- ・ 白内障手術クリニカルパス変更が術後感染発生数及び抗菌薬感受性に及ぼす影響. 第 70 回日本化学療法学会総会 (岐阜), 2022.6.

【2021 年度】

- ・ 抗 VEGF 抗体薬適正使用のための PBPM 実施による薬剤師の貢献. 日本臨床腫瘍薬学会 2022 (仙台), 2022.3.

- ・ がん化学療法下で心不全管理に介入した 1 症例. 日本臨床腫瘍薬学会 2022 (仙台), 2022.3.
- ・ 抗 VEGF 抗体薬使用時における尿蛋白検査実施率向上のための PBPM 実施に向けた薬剤師の取り組み. 第 70 回共済医学会 (Web), 2021.10.
- ・ 感染症専門医不在の中規模病院における AST 専従薬剤師主導の抗菌薬適正使用支援活動評価. 第 31 回日本医療薬学会年会 (Web), 2021.10.
- ・ 薬薬連携における抗がん剤の副作用フォローアップ調査. 第 31 回日本医療薬学会年会 (Web), 2021.10.
- ・ 病院・薬局薬剤師・薬学生合同勉強会による学習効果. 医療薬学フォーラム 2021/第 29 回クリニカルファーマシーシンポジウム (Web), 2021.7.
- ・ eGFR 勾配を評価項目とした、DPP-4 阻害薬 (リナグリプチン) の腎保護効果の検討. 医療薬学フォーラム 2021/第 29 回クリニカルファーマシーシンポジウム (Web), 2021.7.
- ・ Three case reports on the visual disorder in Parkinson's disease patients. 第 62 回日本神経学会学術大会 (京都), 2021.5.
- ・ COVID-19 におけるトシリズマブ投与患者の臨床像について. 第 69 回日本化学療法学会総会 (横浜), 2021.5.
- ・ 中規模病院の AS 活動におけるアウトカム評価と薬剤費削減効果. 第 69 回日本化学療法学会総会 (横浜), 2021.5.
- ・ 白内障手術のクリニカルパス変更による抗菌薬適正使用への影響と薬剤費削減効果. 第 69 回日本化学療法学会総会 (横浜), 2021.5.

【2020 年度】

- ・ COVID-19 症例に対するタブレット端末を用いた吸入手技指導の導入. 第 69 回共済医学会 (Web), 2020.10.
- ・ 中小病院における 2 年間の AS 活動に対する臨床アウトカムの解析. 第 30 回日本医療薬学会年会 (Web), 2020.10.
- ・ AS 活動の臨床アウトカム評価～感染症専門医不在の中小病院における薬剤師の重要性～. 第 68 回日本化学療法学会総会 (神戸), 2020.9.

【2019 年度】

- ・ 吸入指導における地域連携セミナーの評価. 第 68 回共済医学会 (札幌), 2019.10.

【2018 年度】

- ・ 自験例を参考に CT 画像からインスリン注射部位の皮下腫瘍に対応した一症例. 第 7 回日本くすりと糖尿病学会学術集会 (名古屋), 2018.10.
- ・ レミフェンタニル静注用の先発品と後発品におけるコアリング発生要因. 日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会 第 12 回学術大会 (京都), 2018.8.

【2017 年度】

- ・ 地域保険薬局の資質向上に向けた病院薬剤師の役割～トレーシングレポートを用いた副作用をモニタリングの強化とその先に～. 近畿薬剤師合同学術大会 2018 (京都), 2018.2.
- ・ ハイフローセラピーが吸入薬に及ぼす影響に関する検討のパイロットスタディ. 第 27 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (仙台), 2017.11.

- ・ 当院における転倒・転落のインシデントと睡眠薬の関連性に関する研究報告. 第 27 回日本医療薬学会年会 (千葉), 2017.11.
- ・ The relationship between taking Calcium blocker and Drug-induced parkinsonism(DIP). XXIII World Congress of Neurology(Kyoto), 2017.9.

【2016 年度】

- ・ インスリン注入保持時間に着目した自己注射手技の実態調査. 第 5 回日本くすりと糖尿病学会学術集会 (神戸), 2016.10.
- ・ 病薬間における吸入療法の情報共有～薬剤師地域連携研究会を通じて～. 第 26 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 (横浜), 2016.10.
- ・ 保険薬剤師と病院薬剤師の共働作業による外来患者の安全管理. 第 26 回日本医療薬学会年会 (京都), 2016.9.
- ・ 薬剤師による薬剤自己管理評価チェックシートを用いた管理方法の検討. 第 26 回日本医療薬学会年会 (京都), 2016.9.
- ・ 検査値を院内処方箋に表示することによる疑義照会内容の変化～カリウム値を中心に～. 第 26 回日本医療薬学会年会 (京都), 2016.9.
- ・ 副作用自覚症状チェックシートを用いた新人薬剤師教育体制の構築. 第 26 回日本医療薬学会年会 (京都), 2016.9.

【2015 年度】

- ・ 嚥下機能への薬剤の影響に関する検討～薬剤性嚥下障害が疑われた 1 症例～. 第 31 回日本静脈経腸栄養学会学術集会 (福岡), 2016.2.
- ・ 当院におけるバンコマイシン処方設計への薬剤師の積極的介入. 第 31 回日本環境感染学会学術集会 (京都), 2016.2.
- ・ 大阪府病院薬剤師会における若手薬剤師の医療安全への取り組み現状調査. 第 37 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 (神戸), 2016.1.
- ・ インスリン注射部位における異常の発症要因に関する検討. 第 65 回日本薬学会近畿支部大会 (富田林), 2015.10.
- ・ 当院における疑義照会内容の集計と分析. 第 64 回共済医学会 (高松), 2015.10.

【2014 年度】

- ・ 病棟薬剤業務における医師・看護師へのアンケート調査と今後の展望. 第 36 回日本病院薬剤師会近畿学術大会 (和歌山), 2015.1.
- ・ アンケート調査から見た病棟薬剤師の役割とその展望. 第 63 回共済医学会 (名古屋), 2014.10.

著書等

- ・ 沢田佳祐（分担執筆）：第 2 章（不整脈）11. 患者が VT/VF で急変！ 使用する薬剤と注意すべき点は？, 薬剤師のための循環器ポケットブック, じほう (2026).
- ・ 沢田佳祐: 抗菌薬適正使用による医療費削減, 感染対策 ICT ジャーナル, 20(1), 44-50 (2025).
- ・ 沢田佳祐: 薬剤師主導による AST 活動が患者アウトカムの改善につながった枚方公済病院の事例, *Infection Control*, 33(10), 1056-1059 (2024).
- ・ 竹川菜美子, 河野修治（共著）：第 3 章 薬剤師 - 循環器集中治療だからこそ気をつけるべきリスクとリスク, 第 11 章 わかる！ 集中治療での薬剤の使い方, 苦手からプロフェッショナルへ 集中治療室（HCU/CCU）de チーム医療最前線, 高林健介編著, pp.36-48, pp.162-173, 三輪書店 (2024).